

2020/2/25 (Tue.) 第122号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込5-73-3
 駒込SKビル1F
 〒113-0021
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

日医連 執行委員会を開催

平成30年度収支決算報告を承認

平成30年度収支決算報告、令和2年度負担金基準額、日医連役員人事を承認

執行委員会は、釜淵敏彦任執行委員の司会で開会、はじめに横倉義武委員長が以下のように挨拶した。



日医連執行委員会で挨拶する横倉委員長

「昨年の参議院選挙では、我々の代表である羽生田たかし参議院議員が二度目の当選を果たされた。得票数を減らしたことに ついては大きな反省点もあるが、難しい二度目の選挙に当選されたことは、先生方のご尽力のおかげであり、心から感謝申し上げます。また、東京都選挙区で

日本医師連盟は1月21日、日本医師会館で執行委員会を開催した。「平成30年度収支決算報告」「令和2年度負担金基準額」「日医連役員人事」について審議を行い、全会一致で承認および決定した。

折衝を行い、何とかプラス改定にこぎ着けられた。我々が医療を行っていくうえで、医療提供体制のあり方、働き方改革の問題等いろいろな課題があるが、最終的にはやはり法律で規定されていく。それには、政治家等への働きかけが重要であり、医師連盟の政治活動は医師会の政

は武見敬三議員が、埼玉選挙区では古川俊治議員がそれぞれ当選された。先生方のご努力に重ねて敬意を表する次第である。昨年末の診療報酬改定では、医師の働き方改革分の〇・〇八%を加えて本体がプラス〇・五五%となった。以前から私は「モノから人へ」と、モノの値段の過剰な部分を人件費のアップに充てることを主張してきた。財務省はマイナス改定を主張していたが、医療機関の運営状況もギリギリのところなので、もう少し余裕のある運営ができるよう上乗せさせようと、国会議員をはじめ政府との折衝を行って、平成30年度日本医師連盟の負担金基準額、「日本医師連盟役員人事」について提案させていた。慎重な審議のうえで活発な議論により、ご承認いただければ幸いです。

策を実現するためには必要不可欠なものである。その意味で、医師連盟の政治活動についてぜひ多くの会員の先生方からご理解を得ながら行っていく必要がある。現在、日本医師連盟の会員が徐々に減少している。会員の減少は負担金収入の減少に直結し、連盟活動の先細りにつながる。このため、会員数の増加に向けてぜひともお取り組みいただきたい。本日は議事として、「平成三十年日本医師連盟収支決算報告」「令和2年度日本医師連盟の負担金基準額」「日本医師連盟役員人事」について提案させていた。慎重な審議のうえで活発な議論により、ご承認いただければ幸いです。



日医連執行委員会

からの多大なご支援により、当選させていただいた。与えられた六年間しっかり仕事をしたい (4面へ)

平成30年度 日本医師連盟収支決算報告書

期間収支計算書 (平成30年4月1日~平成31年3月31日) (単位:円)

収入	
負担金	969,976,000
特別会費	0
寄付金	0
その他収入	57,015
繰越金	1,037,635,403
合計	2,007,668,418
支出	
経常経費 (A) (人件費、備品消耗品費等)	89,774,975
政治活動費 (B)	1,001,763,907
・組織活動費	162,625,989
・選挙関係費	3,100,000
・機関紙発行その他事業費	29,916,610
・調査研究費	159,308
・寄付交付金	805,962,000
支出計 (A + B)	1,091,538,882
剰余金	916,129,536
合計 (支出計 + 剰余金)	2,007,668,418
負担金未収入金	0



挨拶する羽生田参議院議員

(一画より)
こうと改めて決意している。以前から関わっている医療基本法

は、今、最終段階を迎え、もう少しで法案として提出できる前段階までできている。何とか早めに法律として仕上げたいと思っている。

引き続き議事に入り、まず、平成三十年度日医連収支決算報告については、篠原彰会計責任者が収支内容の説明と報告を行った。その際、平成三十年度においても過年度負担金が発生していないことが報告され、関係者の協力に感謝の言葉を述べた。

これを受け、月岡関夫会計監督者より、会計監督者三名で会計監査を行った結果、収支は適正妥当であり帳簿記載も的確に処理されていることを確認したとの報告があり、全会一致で平成三十年度収支決算報告は承認された。

平成30年度収支決算報告について

て参る所存である。今後ともご支援賜りたい」と挨拶した。

負担金基準額は昨年度と同額に決定

次に、令和二年度の負担金基準額について、今村聡副委員長が一昨年度と同様に連盟会員一人あたり二万円とさせていたきたたくご承認をお願いしたい」と提案した。

審議の結果、令和二年度負担金基準額は原案どおり全会一致で承認され、決定した。

日医連役員人事について

続いて、堤康博会計責任者職務代行者からの福岡県教育委員就任に伴う辞任届を受け、横倉委員長が福岡県医師連盟から推薦のあった瀬戸裕司氏を後任とした旨を提案し、提案どおり全会一致で承認された。

日医連常任執行委員会

当日、執行委員会に先立ち、日医会館で日医連常任執行委員会を開催した。議事「平成三十年度収支決算報告」、「令和二年度負担金基準額」、「日医連役員人事」についてそれぞれ審議を行い、全会一致で承認された。承認された議事は、その後開催された執行委員会で審議が行われた。



日医連常任執行委員会